

オランダ *the Netherlands*

ベアトリクス女王 *Princess Beatrix*



オランダの20セント硬貨。ベアトリクス女王の肖像がデザインされている。

[出典: 欧州中央銀行]



2014年には現国王ウィレム＝アレクサンダー王のシリーズが発表され、現在2種類のデザインが流通している。

[出典: 欧州中央銀行]

ベアトリクス女王って どんな人？

ベアトリクス女王は1980年4月30日に即位し2013年4月30日に退位するまで、33年間オランダ王国の女王を務めた人物です。

1938年に生まれるとすぐに第二次世界大戦が起こります。1940年、オランダがナチス・ドイツに侵攻されるとイギリスに亡命、その後カナダで初等教育を受け、終戦後にオランダに戻りました。このように幼少期は第二次世界大戦に振り回されました。28歳になったベアトリクスはドイツ人外交官クラウスと結婚します。一部のオランダ国民はこれを歓迎せず、反対派によるデモが発生したりしました。その後、二人の王子を出産した後、先代のユリアナ女王が退位したため、1980年に即位。2013年に退位し、現国王ウィレム＝アレクサンダー王に譲位しました。

即位中は、毎週首相と政治会談をするなど、政策通でもありました。

日本とベアトリクス女王

日本とオランダの関係について、皆さんはどう思いますか？江戸時代に鎖国政策をとっていた日本が貿易を行った唯一のヨーロッパの国ですし、関係は良好なのではないのかな？と思うかもしれません。しかし、実際には、当時オランダの植民地であったインドネシアを第二次世界大戦で日本が侵攻してから、戦後しばらくは積極的な友好関係はありませんでした。オランダには、インドネシアは自分のものという意識が強く、第二次世界

オランダのハーグにあるハウステンボス宮殿。[出典: Wikimedia]



PeteBobb [CC BY-SA 3.0]

大戦直後からインドネシア共和国と4年間の激しい独立戦争をしました。このような経緯から日本に反感的な人も一部いましたが、ベアトリクス女王をはじめとしたオランダ皇室と日本皇室は親密な関係を現在まで築いています。ベアトリクス女王は、1962年の初来日以降、翌1963年や東京オリンピックの1964年、大阪万博の1970年など、たびたび日本を訪れています。2006年には当時皇太子である天皇陛下一家の長期療養を受け入れたりもしました。また、長崎にあるテーマパーク「ハウステンボス」は、ベアトリクス女王の許可により、自らの居所である「ハウステンボス宮殿」から名前をつけています。このように、日本及び日本皇室との友好関係を築いた女王でした。

参考文献・画像出典

- 君塚直隆「女王陛下の外交戦略—エリザベス二世と『三つのサークル』」(講談社, 2008年)
- 欧州中央銀行:<https://www.ecb.europa.eu/euro/coins/html/nl.en.html>
- Wikimedia:https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Huis_ten_Bosch.jpg

オ ス ス メ の 一 冊



女王陛下の外交戦略 —エリザベス二世と「三つのサークル」

君塚 直隆 著 (講談社, 2008年)

【請求記号】3190:2049

イギリスのエリザベス二世の皇室外交について書かれた本ですが、ベアトリクス女王も登場します。二人とも戦後の長い期間在位していて、その時代の皇室外交についてよく知ることのできる本です。皇太子時代の上皇陛下、天皇陛下も登場し、皇室外交の華々しさを感じることができます。

執 筆 者 紹 介

瀧澤 亮 / 経済学部2年

ロードバイク、バスケットボール、ビリヤードなど、浅く広くの多趣味ニッポン人です。今までにしたことがないことをするのが好きなので、面白いものがあれば教えてください(笑)

